

TAKADA

株式会社 高田工業所

〒806-8567
北九州市八幡西区築地町1番1号
TEL 093-632-2631
<https://www.takada.co.jp>



TAKADA CORPORATION | CORPORATE PROFILE

TAKADA

CORPORATE PROFILE

株式会社 高田工業所
— 会社案内

みらいを創る

CREATE THE FUTURE →

TAKADA CORPORATION | CORPORATE PROFILE

高度な技・能で 新しいみらいを創るTAKADA

1940年創業の産業プラントエンジニアリングのパイオニアである高田工業所は、
「お客様の信頼と多様なニーズに、確かな技術と技能で応える」をモットーに、
高度な技能の確立、技術開発、人材育成に力を入れ、成長してきました。
私たちは、新たな時代において変化を恐れず挑戦を続け、
世の中に可能性を生み出し、
サステナブルな、より良いみらいを創ることを目指します。

お客様のことを思う
“純情”な心で、
時代・ニーズに最適な
サービスを実現。

適合力
ADJUSTABILITY

教育力
EDUCATION

挑戦する人材の育成。
みらいへ
技術・技能をつなぐ
“希望”。

TAKADA

完遂力
COMPLETION

終わりなき“情熱”。
奥深い知性で、
さらにその先を
目指す。

サステナブルな企業への成長と挑戦



トップメッセージ TOP MESSAGE

創業時から社員の胸に深く刻み込まれている、社は「純情・情熱・希望」は、今もなお引き継がれています。素直な心と奥深い理性ある情熱。そして、常に夢多く明るい希望を持ち続け、成長・変化を惜しまない人間こそが、事業の継続において重要な存在であり、当社の強みです。

1940年に創業した当社は、基礎素材産業をはじめ、さまざまな産業設備の設計から調達、製作、建設、メンテナンスまでを担い、国内外問わず各種産業の発展に携わってきました。創業から80年以上が経過した近年では、これまで培った技術・技能を活かし、装置事業や設備診断事業へと範囲を拡大しながら、ICTやDX化を積極的に取り入れ、時代の変化に順応した事業を展開しています。

2022年度からスタートした「第5次中期経営計画」を軸に、創業100周年の[みらい]に向けて、持続的な企業価値の向上と安定した成長を達成する企業となるべく、挑戦を続けてまいります。

代表取締役社長 高田 寿一郎

社会や人々の生活を支える TAKADAの「創る・築く・守る」

TAKADAは創業以来、プラント事業を柱に様々な事業を展開してきました。
その中から派生して生まれた新たな事業領域をさらに拡大させ、
付加価値の向上・生産性の向上を図っています。

当社が「創る・築く・守る」社会は持続可能な未来へ
つながっています。

高い技術力とこれまで蓄積してきた技術を活かし、
社会に貢献しています。

創る

PRODUCTION

モノづくりのためのモノづくり。
徹底された安全・品質管理に
よって信頼を構築。

築く

CONSTRUCTION

蓄積された設計力と施工技術を
高度に融合し、合理的で信頼性
の高いプラントを建設。

守る

MAINTENANCE

常に最高の生産能力を発揮できるよう
に、設備診断から保全、補修、劣化防止
対策に至るまで、高度な技術で最適な
メンテナンスを提供。

01 PLANT ENGINEERING プラントエンジニアリング



建設/メンテナンス
EPC

02 EQUIPMENT DIAGNOSIS 設備診断



電流情報量診断システム
破壊・損傷材料の解析技術

03 SEMICONDUCTOR MANUFACTURING EQUIPMENT 半導体製造装置



枚葉式ウエット処理装置
超音波カッティング装置
その他装置

Business
Field 01

プラント エンジニアリング

PLANT
ENGINEERING

建設/メンテナンス
EPC

お客様の信頼とニーズに 高度な技術で応える

当社は製鉄、化学などの基礎素材産業をはじめ、
様々な産業設備の設計から製作、建設、メンテナンスまで携わっています。
トータルプロジェクトの企画・設計、具体的な機器の製作、
コストを配慮した調達、最適な建設・メンテナンス。
そのすべてにおいて、安全と品質管理を徹底しています。



TAKADAの強み



盤石なネットワーク体制

全国各地の拠点から迅速かつ効率的なサポート体制をご提供。



高度な溶接技術

プラントには、厳しい法規制や様々な材質が存在します。多くの溶接有資格者が在籍する当社の溶接技術は全国トップレベルです。



一貫責任施工

設計から現地施工までを一貫して実施することで、
高レベルの安全と品質を確保。



一貫通貫の電気計装

プラントの「電気・計装工事」を設計から施工まで一貫して対応。
機電一括の実績も多く保有しています。

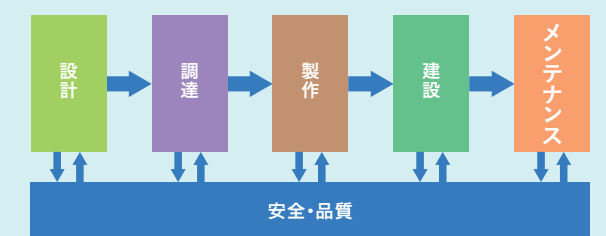


クリーンテクノロジーに対応

重厚長大産業で蓄積した技術を技術革新が進むエレクトロニクス関連にも展開し、技術の発展に貢献しています。

TAKADAトータルシステム

TAKADAは、すべてのプロジェクトの各ステップで品質管理と安全管理を徹底しています。さらにプロジェクトの内容に合わせて柔軟に対応するプロジェクト・マネジメントの思想を組み合わせ、信頼性を高める体制を作り上げています。品質管理と安全管理の融合により、高度なニーズにも対応しています。



建設/メンテナンス

独自の技術を最大限活用し、 設計力と施工技術を融合させ プラントを構築

近年プラント業界においては、カーボンニュートラルやDXなどの新しい社会に対応するため、設備の機能性向上や生産プロセスの変革が求められています。そのような中、当社はプラントエンジニアリングにおいて、独自の技術のノウハウと蓄積技術を最大限活用し、設計力と施工技術を融合・駆使し、計画通りかつ安全にプラントを完成させることを目指しています。また、メンテナンスにおいては、長期にわたって設備の性能維持と長寿命化に向けた保全体制を構築しています。お客様の多様なニーズに応えられる高度なエンジニアリング力とメンテナンス技術が高く評価されています。



建設 設計

高度な設計力で、 合理的で信頼性の高いプラントを設計

これまで蓄積してきたプラントエンジニアリングの実績とデータをもとに、各種ITツールによる高度なエンジニアリングサービスを提供。その中でも、3次元CADを使用し、設計段階での問題点の解決や

計画業務の効率化を行い、整合性のとれた高品質な製品を短期間でご提供いたします。



建設 製作・施工

多くの実績を基に 長年培ってきたノウハウを積極的に提供

近年の省エネ化やクリーン化などの社会およびお客様のご要望に応えられる信頼性の高いプラントを建設しています。特に、原子力発電所やエレクトロニクス関連設備においては、有資格者による特殊配管施工

技術や特殊材質に対応できる高度な溶接技術を保有し、お客様設備の安定・安全操業に寄与しています。また、トータルコストのミニマム化を図った製作・施工を行います。



メンテナンス

多様なニーズに正確・迅速に対応

製鉄分野において、高いメンテナンス技術を支えているのは、「マイマシン活動」です。高度な整備技術と設備管理、設備改善活動、設備の特性や法令・規格に対応した作業の効率化と標準化などを通じて、お客様の設備を「マイマシン」として大切に守り続けます。

また、化学、石油・化学プラント分野を中心に、年々大型化する定期修理工事や日常保全を含む定期的な整備・修理にも対応。設備・機器のトラブル時には、お客様と一体となって原因を調査し、対策を検討して対応します。



様々な分野におけるプラントをEPCで対応

設計部門と国内外にある拠点とがプロジェクト体制を組み、綿密な連携を図りながらEPC運営を行っています。

	Engineering 設計 プロセス・基本・詳細設計	Procurement 調達 調達計画および仕様書作成 資器材の調達	Construction 建設 工事の検収 試運転 土木・建築工事 機器製作 機器設置工事 配管工事 電気計装工事 断熱工事 塗装工事
お客様	<ul style="list-style-type: none"> プロセス設計条件の決定 基本設計条件の決定 	<ul style="list-style-type: none"> プロセス設計図書の作成 基本設計図書の作成 詳細設計図書の作成 	<ul style="list-style-type: none"> 土木・建築工事 機器製作 機器設置工事 配管工事 電気計装工事 断熱工事 塗装工事
TAKADA			



ICTツールを活用した業務効率化のご提案

お客様への提供価値向上の取り組み

人手不足・働き方改革等が課題となる建設業において、業務の効率化は重要課題となっています。

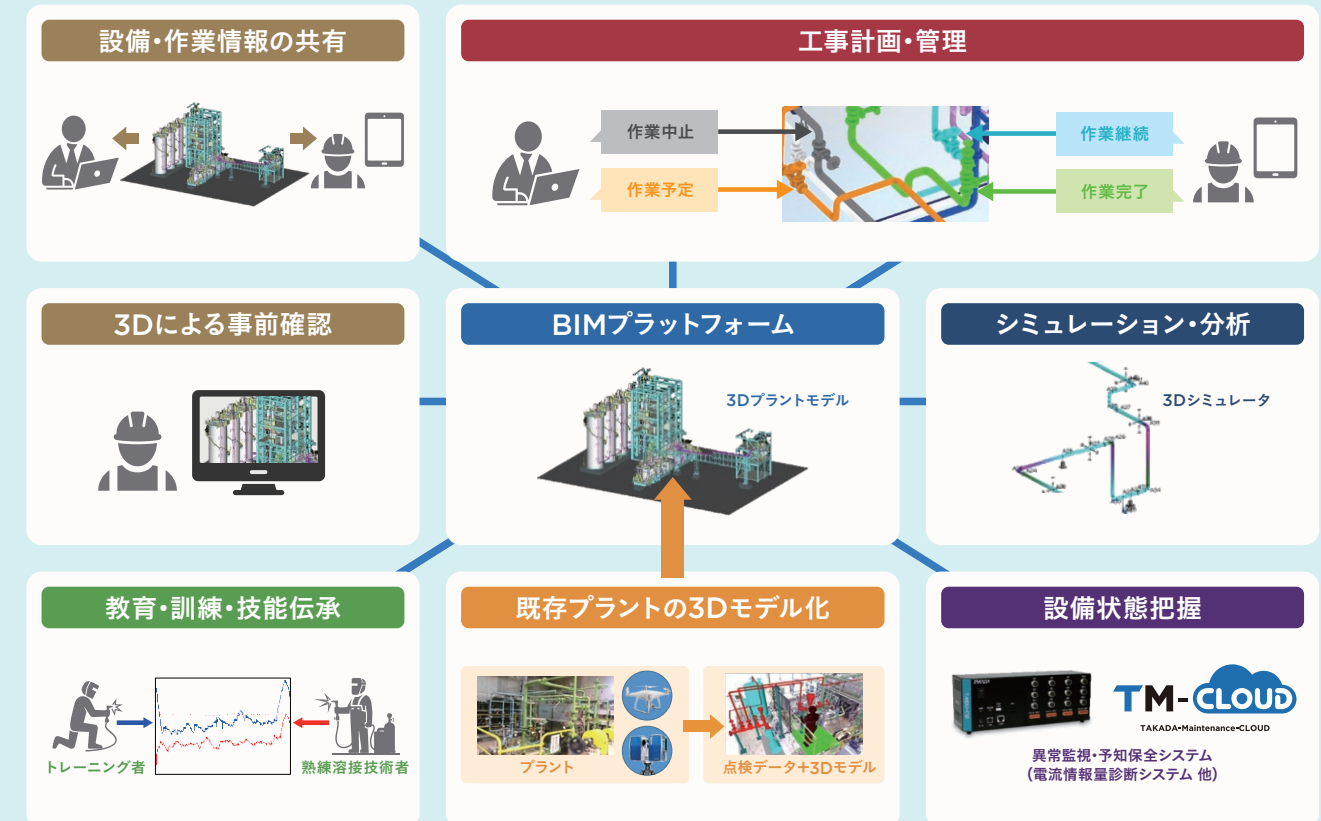
TAKADAでは、これら課題解決に向けて、ICTツールを積極的に取り入れ、自社の業務効率化を図ることはもちろんのこと、お客様ともICTツールを共有することで、双方にメリットのある業務の効率化を提案しています。



TAKADAが目指すDX

TAKADAでは現在、DXの一環として、BIM(ビルディング インフォメーション モデリング)を実施しています。

今後、このBIMプラットフォームに様々な技術を取り入れることにより、業務の効率化の実現、さらにはお客様満足度の向上を目指しています。



BIM
PLANT ENGINEERING

BIMを活用し、構造物や機器・配管の3Dモデルに加え既存設備の計測データを集約・一元管理することで、プロジェクト全体の業務効率化が図れます。安全性・通行性・メンテナンス性をモデル上で確認し、変更・手直しなどのロスを最小限に抑えた安全かつ効率的なプラント建設工事をご提案します。



設備診断

EQUIPMENT DIAGNOSIS

電流情報量診断システム
破壊・損傷材料の解析技術

最新の診断技術で「メンテナンスの最適化」に貢献

当社は、製鉄・化学・石油化学等の基礎素材産業の設備メンテナンスを行う中で、様々な技術とデータを蓄積してきました。特に、回転機械の診断技術や静止機器や配管に対する腐食損傷解析技術においては、長年にわたって研究開発を重ね、お客様設備の延命化に努め「メンテナンスの最適化」を追求しています。これらの診断技術を新しい分野にも展開し、設備診断事業をさらに拡大しています。

電流情報量診断システム「T-MCMA®」

TAKADAの診断ソリューションで設備管理の課題を解決!! 日本初 電流解析により「安全・正確・簡単」に設備の状態を監視・診断



- Solution01** 高経年設備対応
- Solution02** 現場点検の負荷軽減
- Solution03** 保全コストの削減
- Solution04** 故障の未然防止・再発防止

モータの電流信号を多重解析し、モータおよび回転機械の状態を診断します。電気盤で電流信号を計測するため、振動計測が困難な回転機械の状態診断も「安全・正確・簡単」に行うことができます。

また、クラウド「TM-CLOUD®」により、遠隔地の回転機も高速・安全に状態監視が可能です。さらに、ご依頼に応じて当社スタッフによる原因究明までサポートいたします。



回転機械設備の電流解析による状態監視技術「T-MCMA®」
独立行政法人製品評価技術基盤機構
スマート保安技術カタログ
(電気保安)
要素 2023 00007-01
T-MCMA

国土交通省
新技術情報提供システム
NETIS
電流を用いた回転機械の監視・診断システム「T-MCMA®」
登録番号: QS-230028-A

「T-MCMA®」は、NITE (製品評価技術基盤機構) が公開する「スマート保安技術カタログ」、および国土交通省が運用するNETIS (新技術情報提供システム) に登録されています。

《 T-MCMA®の特長 》

- 1 モータと負荷側機械の状態を監視・診断
- 2 回転機械設置場所と関係なく、動力線にクランプセンサを取り付けるだけで、計測・診断が可能
- 3 幅広い適用範囲
一般回転機械 インバータ駆動機械
低速回転機械 高圧モータ等
- 4 インバータ診断、コイル絶縁劣化診断、電源品質モニタリング、過渡電流診断、プロセス診断
- 5 無線ネットワークおよびクラウドコンピューティングによる多チャンネルオンライン監視・診断
- 6 少ない初期投資で、オフライン/オンライン/遠隔での監視・診断

導入事例

こんな場所の検知も可能!

- 河川・液中(軸流のポンプ・環のモータ)
- 高所(ジェットファン・攪拌機)
- 危険エリア(高温・放射能・酸欠・防爆・毒ガス)

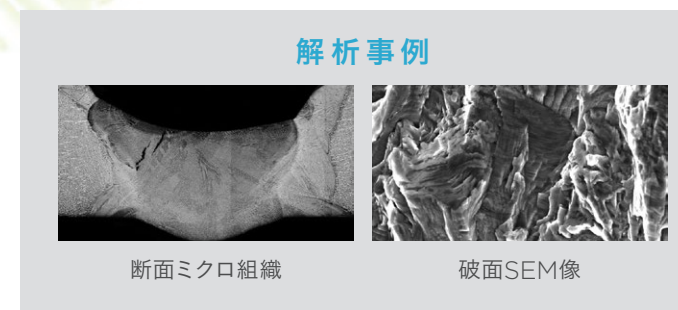


部位	検知可能項目
モータ部	<ul style="list-style-type: none"> ● ロータ異常 ● ステータ異常 ● 回転軸偏芯 ● インバータ制御のモータ異常 ● コイル絶縁異常
回転機械本体部	<ul style="list-style-type: none"> ● カップリング異常 ● 回転軸異常 ● 翼異常 ● インバータ制御のモータ異常 ● ベアリング異常
電源	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源ノイズ(品質) ● インバータ異常 ● 消費電力

破壊・損傷材料の解析技術

材料の破壊・損傷の原因究明から補修工事までフルサポート

応力腐食割れや疲労など、お客様の設備で発生した材料の破壊や損傷の原因を究明し、再発防止策をご提案。豊富な対応実績を持つスタッフが補修工事まで対応し、設備の安全性向上に貢献します。



診断画面、診断実績、TM-CLOUD®適用事例などをご紹介します「電流情報量診断システム概要紹介動画」は、こちらからご覧いただけます。



半導体製造装置

SEMICONDUCTOR MANUFACTURING EQUIPMENT

枚葉式ウェット処理装置
超音波カッティング装置
その他装置

持続可能な社会を目指し、ソリューション・プロバイダーとしてお客様に新たな価値を提供

半導体は、今や私たちの豊かな暮らしやこれからの未来にとってなくてはならないものです。当社は、半導体製造装置メーカーとして、様々なお客様の声を基に装置の開発、製作、販売を行っています。今後も持続可能な社会の実現のため、テクノロジーの加速やカーボンニュートラルに貢献できる装置を提供いたします。

枚葉式ウェット処理装置 (TWPシリーズ)

センサパワーデバイス、光通信等の製造工程に対して、お客様の課題解決に必要なウェット処理プロセス(レジスト剥離、リフトオフ)装置をご提案します。



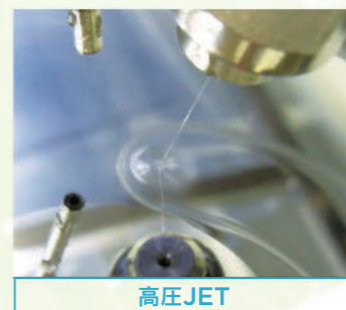
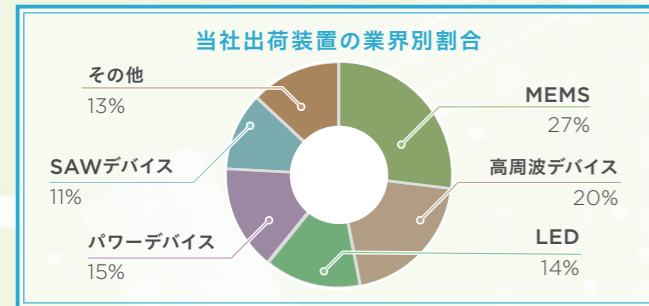
コンパクト枚葉式ウェット処理装置 (TWPm)



セミオートウェット処理装置 (TWPsa)



枚葉式ウェット処理装置 (TWP)



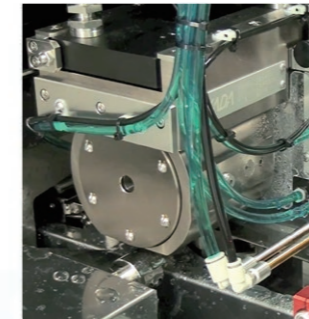
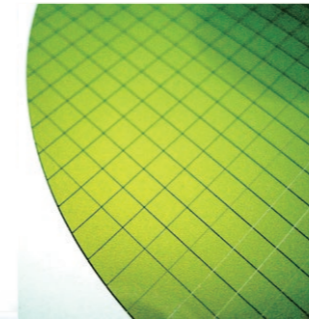
マニュアル洗浄装置 (TCX100)

ダイシング後のスピン式ワーク洗浄装置。

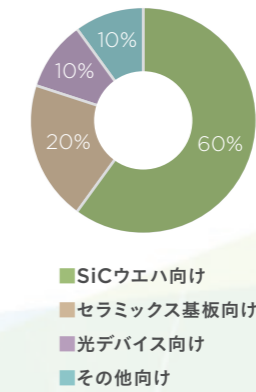
ダイシングによって発生する切削屑やワーク表面上の金属バリを除去する機能を搭載したコンパクトマニュアル洗浄装置です。

超音波カッティング装置 (CSX501)

省エネに寄与する電子部品として注目されるSiC(炭化ケイ素)パワーデバイス。当社は、これら次世代材料の加工に超音波アシスト切断を提案し、高品質・高効率・低コストを実現し、カーボンニュートラルに貢献します。



当社出荷装置の台数割合

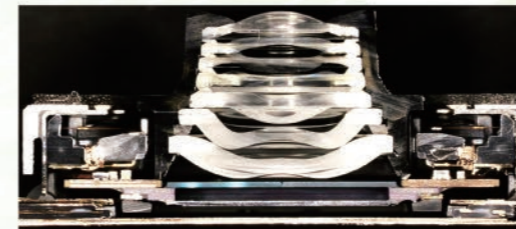


超音波カッティング装置 (CSX501)

断面観察用超音波カッティング装置 (CSX-100Lab)

断面観察用試料作製に特化した専用装置。

超音波アシスト切断の断面研磨効果を利用し、断面観察作業の省力化・時間短縮に貢献します。



超音波アシスト効果の比較



断面観察用超音波カッティング装置 (CSX-100Lab)

その他装置

バッチ式処理装置 (TWS)

乾燥方式は、IPA乾燥もしくは、SPIN乾燥の選択が可能です。

IPA Vapor乾燥装置 (IPD)

IPA(イソプロピルアルコール)の蒸気雰囲気中にて洗浄および乾燥する装置です。

※オプションにてIPA洗浄機能追加可 ベーパーゾーン、ドライゾーン(冷却回収)に分けIPAの持ち出し量を最小限に抑えます。



バッチ式処理装置 (TWS)



詳しくはこちらからご覧いただけます。

なお、テクニカルセンターでは、実機を設置し、装置導入前のデモンストレーションやお客様の課題解決に向けたご提案を行っています。





みらいに向けて、
自らの成長とともに社会的責任と
その重要性について深く考え
チャレンジを続けます



持続的な企業価値の向上と安定した成長を達成するための活動を通じて、SDGsの達成に貢献。「脱炭素社会」と「循環型経済」の実現に向けて、積極的にチャレンジします。

環境

自然環境への負荷低減に向けた事業活動

各種プラントや設備等の最適なメンテナンスに携わり、エネルギーロスの低減や不具合による設備トラブルの抑制に貢献しています。さらに地球温暖化防止や循環型社会の構築に役立つバイオマス発電所や水素ステーションなどの建設や溶接技術の開発を行っています。



宗像ウニプロジェクト

“みらいに続く豊かな海づくり”

当社は、国立大学法人九州大学、宗像市、宗像漁業協同組合と、「宗像市SDGs豊かな海づくりに関する連携協定」を締結しています。当協定は、4者が相互に連携し「経済成長・社会

的包摂・環境保護」の三側面から地域課題解決を図り、持続的に豊かな海を守ることを目的としています。

駆除ウニ捕獲



販売利益で駆除ウニの捕獲費用を捻出



廃棄食材を使って陸上養殖で身を付ける



ブランドウニとして販売



社会

社会の発展に貢献するとともに、社員を始めとするステークホルダーのすべてが健康でいきいき働く環境づくりを目指します。



たかだ基金

人にやさしく、地域にやさしい企業と人であるために企業は人。人の情熱や優しさが企業の原動力であるのと同じように、地域・社会へ広く目を向け、情熱と優しさの輪を広げたい。そんな想いから1995年、企業の枠にとられない社会貢献のための「たかだ基金」を設立しました。社会福祉事業・環境美化事業・災害被災地支援事業など、社会・地域に密着した自主的かつ継続的な活動を行っています。



ガバナンス

激変する経営環境の中、経営の透明性および効率性を確保するとともに、健全な企業経営を行うためガバナンスを強化し、ステークホルダーとの信頼構築に努めています。さらに「コンプライアンス経営」を進め、企業活動上求められるあらゆる法令・規則の遵守はもとより、社会規範に則した誠実かつ公正で透明性の高い企業活動を遂行しています。また、コンプライアンス違反行為の未然防止と早期発見のため、社内外にコンプライアンス相談窓口を設置し、運用しております。



人材育成

HUMAN RESOURCES DEVELOPMENT

どんなに技術が進歩しようとも、企業の根幹を支えるのは「人」。技術は人によって開発され、人によって活かされます。TAKADAでは、高度な技能を次の世代に伝承するための人材育成に取り組んでいます。

キーワードは『「人」がTAKADAのまんなかです。』未来に向けともに生き、ともに育ち、ともに栄えるための人材開発に取り組んでまいります。



高度熟練技能者育成

DEVELOPMENT OF HIGHLY-SKILLED WORKERS

「人」がTAKADAの財産。
誇り高き匠のDNAは受け継がれています。



スキルアップのための資格取得を推奨しています。また、「高度熟練技能者」や「優秀技能者」の育成など、お客様の安心を支える技能者の育成にも取り組んでいます。

匠たちが培ってきた高い「技・能」を次の世代に伝えていくことも、私たちの使命のひとつだと考えています。



「人」が
TAKADA の
まんなかです

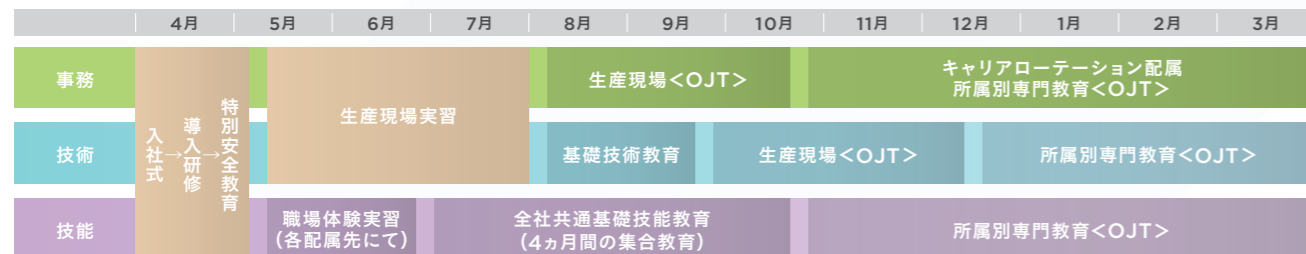
新入社員教育

NEW EMPLOYEE TRAINING

「人」の能力と知恵を引き出し、
自主的・能動的・創造的な人材を育成します

TAKADAでは、若手社員の早期育成に力を入れています。特に、新入技能社員は職場体験実習を行った後、「TAKADA研修センター」で4か月間、集中して全社共通基礎技能教育を受けます。これは、即戦力となる技能を

身に付けるための、当社独自の技能教育です。この4か月間の集合教育が終わると、次は所属別専門教育(OJT)を受けながら、実践的な技能を習得していきます。



2040みらいプロジェクト

2040 MIRAI PROJECT

Work as Life -人生の価値としての仕事-

TAKADAグループは、若手・中堅社員を中心とした「2040みらいプロジェクト」を立ち上げ、働くことに「ワクワク、ドキドキ」を感じられる組織風土づくりに取り組んでいます。

2040年に迎える創業100周年に向けて、新たな成長の実現と社会に貢献できる魅力ある組織を目指します。



詳しくは
こちらから



技能オリンピック

TECHNICAL SKILL OLYMPIC

若手社員のモチベーションを高める全社大会。競技は事業所対抗戦で、先輩から後輩へ技能を伝承するチャンスでもあります。若手社員が「モノづくり」に真剣に取り組む、技を競い合います。過去の技能オリンピックの様子(動画)は、こちらのQRコードからご覧いただけます。



可能性を広げよう

RECRUIT

「挑戦」を恐れない人が新しい未来、新しいTAKADAを切り拓く。私たちは、ともに未来を創る仲間を募集しています。

事務・技術
新卒採用



技能新卒採用
(高校生向け)



会社情報

COMPANY PROFILE

会社概要

名称 株式会社 高田工業所(TAKADA CORPORATION)
 所在地 〒806-8567 北九州市八幡西区築地町1番1号
 創業 1940年9月26日

設立 1948年6月30日
 資本金 36億4,235万円

国内
ネットワーク
|
DOMESTIC
NETWORK



グループ会社
|
GROUP
NETWORK



高田プラント建設株式会社



高田サービス株式会社



渡部工業株式会社



高田アジア



シンガポール高田工業



高田マレーシア



菊池タイ

許認可等

建設業法 特定建設業可	建築工事業 とび・土工工事業 電気工事業 管工事業 鋼構造物工事業 塗装工事業 機械器具設置工事業 解体工事業
建設業法 一般建設業可	電気通信工事業 消防施設工事業
電気工事業の業務の 適正化に関する法律	通知電気工事業者
労働安全衛生法	各種製造許可 (第一種圧力容器、ボイラー、クレーン、 デリック、ゴンドラ)
電気事業法	各種溶接の方法の確認
ガス事業法	各種溶接の方法の確認
高圧ガス保安法	大臣認定試験者(管類)の認定
原子炉等規制法	各種溶接の方法の認可
ISO 9001	《認証取得》 ・本社各部門が行う各種産業設備のエンジニアリング、調達及び製造管理業務、診断サービス事業のエンジニアリング、調達、施工・診断サービス管理、診断サービスの提供、供給した機器のメンテナンス、部品供給及びアフターサービス業務 ・君津支社君津工場が行う各種産業設備の配管工事の内、電気事業法、ガス事業法、高圧ガス保安法及び消防法の適用配管の設計・製作・据付

沿革

1940年 9月	現 三菱ケミカル(株)殿九州事業所福岡地区で高田組を創業
1948年 6月	(株)高田工業所を設立
1948年 12月	現 日本製鉄(株)殿九州製鉄所に八幡作業所(現八幡支社)を設置
1955年 12月	築地工場(現 本社工場)を設置
1959年 8月	四日市営業所(現 四日市事業所)を設置
1961年 4月	長浜出張所(現 長浜事業所)を設置
1963年 12月	水島事業所(現 中四国支社)を設置
1965年 9月	大阪出張所(現 大阪事業所)を設置
1965年 11月	原子力関連分野へ参入 (燃料再処理実験装置配管工事)
1966年 1月	海外へ初進出(インド/肥料プラント建設工事)
1968年 4月	君津営業所(現 君津支社)を設置
1973年 10月	鹿島出張所(現 鹿島事業所)を設置
1981年 5月	京葉出張所(現 京葉支社)を設置
1983年 11月	福岡証券取引所に株式上場
1993年 1月	大阪証券取引所市場 第二部(現 東京証券取引所スタンダード市場)に株式上場
1995年 6月	TAKADA研修センターを落成
2005年 2月	第1回技能オリンピック全社大会を開催
2007年 4月	超音波関連事業へ参入
2016年 4月	電流情報量診断システム「T-MCMA®」を販売開始
2020年 7月	渡部工業株式会社の株式を取得(子会社化)
2022年 5月	「宗像市SDGs 豊かな海づくりに関する連携協定」を締結
2023年 11月	日揮(株)殿と国内EPCに関する協業合意書を締結

